

「2019年浙江大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学法学部1年 山本浩子

1.学習成果

まず、授業が全て中国語で行われたことに非常に驚きました。てっきり英語で行われるものだと思ってました。最初の授業は何を言ってるのかさっぱり分からなくて、戸惑いましたが、授業数を重ねることに、よく先生が使う言葉などを理解して行って、授業中に当てられても答えることができるようになりました。授業内容ですが、文法、スピーキング、リスニングの3つの分野に別れて行われました。文法、スピーキングは比較的理解しやすかったです。日本で習ったことが活かされた感じです。しかし、リスニングはすごく難しかったです。日本では、全く知らない文章のリスニングはしたことなく、また話す速度も早かったのでほぼ聞き取れなかったのですが、2週間授業を受けたら、すこし単語が聞き取れるようになりました。

2.海外経験

良い面としては、食べ物がとてもやすかったです。朝ごはんを沢山食べても100円ほどしかかからなかったのが、初めの方は驚きました。しかし、服などは日本と変わらない値段だったので、中国国民の給料の使い道が気になりました。貧富の差が多いと聞いたので、貧しい人たちは、服などどのように手に入れているんだろうと思いました。

また、中国はとにかくキャッシュレス！の国なので、お金の面で心配が多かったです。大きい額のお札ではお釣りが貰うことができなかつたり、バスでも細かいお金をあらかじめ用意しておかないと両替できないので大変でした。でも、アリペイなどが使えたら非常に便利だなと思います。日本でももっとキャッシュレスが広がればいいなと思いました。なぜ日本ではゆっくりしか広まっていないのか不思議です。ほかの生活面では、洗濯が大変でした。チケットを買って洗濯機を使えるのですが、有効期限が10分なので、たいへん急かされました。

人間関係について書くと、日本人では京大生と東大生の友達が増えました。また、日本人の友達が韓国語を喋れて、かつ私も少し喋れたので、韓国人の友達がたくさんできました。その他の国の人も喋りましたが、コミュニケーションの難しさを実感しました。

3.プログラム内容

日本語が堪能な現地の学生が、毎日いろいろなところに連れて行ってくれました。中国の歴史を感じることができる美術館や、現代的なプロジェクションマッピングなど、最新の中国の技術も知ることができました。